



とちぎ

2018

県政のあゆみ

# 1月-2月

## 1月15日を「いちご王国・栃木の日」として宣言

1月

### 「いちご王国」プロモーションを開催

いちごの生産量50年連続日本一を契機に、栃木県のブランド価値向上と県産いちごの更なる発展を図るため、1月15日を「いちご王国・栃木の日」として宣言。1月15日から2月14日までを集中プロモーション期間として、県内集客施設での「いちご王国」の魅力を伝えるイベントや県内企業等による916件のいちごをテーマとした自主的な取組が展開されました。



\*\*\*\*\*

## 白いちごが誕生！

1月

### いちご新品種「栃木 iW1号」を発表



県農業試験場いちご研究所で開発した白いちご「栃木 iW1号」を1月29日に発表しました。その外観やまろやかな食感など、これまでの県開発品種とはまた違った特徴を持っており、「いちご王国」の新たな品種ラインナップとして観光いちご園での販売やプレゼント用としての活用が期待されます。

\*\*\*\*\*

## スポーツと文化で結ぶ ハンガリーととちぎ

2月

### 「東京オリンピック・パラリンピック等に向けたとちぎビジョン」シンポジウムを開催

2月2日、県総合文化センターで、東京2020大会に向けた機運醸成と、栃木県がホストタウン登録を受けたハンガリーの理解促進を図るため、「東京オリンピック・パラリンピックに向けたシンポジウム」を開催しました。

ロンドンオリンピックサッカー女子銀メダリストの安藤梢選手とロンドンパラリンピック車いすバスケットボール男子日本代表の増淵倫巳選手によるトークショーを開催したほか、ハンガリー特命全権大使の



パラノビチ・ノルバート大使、ピアニストの阿久澤政行さん、バイオリニストの打保早紀さんが、ハンガリーの食や文化、観光スポットなどを紹介するとともに、阿久澤さんと打保さんによるミニコンサートを開催しました。



## 2月

### 地域の活性化に寄与する道路整備

主要地方道羽生田上蒲生線 助谷バイパス 4車線化 供用開始

2月



みぶ羽生田産業団地の本格稼働に伴い、北関東自動車道壬生 IC から産業団地へのアクセス向上を目的として、平成 26 年度から進めてきた主要地方道羽生田上蒲生線（工区延長 4,200 メートル）の 4 車線化が完了し、2 月 3 日に全線が開通しました。

これにより、産業団地へのアクセスが向上し、より一層の地域の活性化に寄与するものと期待されます。

\*\*\*\*\*

### とちぎの花といちごの消費拡大を目指して！

花と苺のフェスティバルを開催

2月

とちぎの花の普及拡大と、とちぎのいちごの PR を図るため、2 月 10 日、11 日の 2 日間、とちぎ花センターにおいて「花と苺のフェスティバル」を開催しました。



早春の香り漂う色とりどりの花々と、甘くておいしいいちごのコラボレーションを、2 万人を超える多くのお客様に楽しんでいただきました。

\*\*\*\*\*

### 火山災害・地震災害を想定して

「関東ブロック DMAT 訓練」を開催

2月



2 月 10 日と 11 日に、災害時における医療提供体制を強化するため、県庁舎や各地域の災害拠点病院、自衛隊駐屯地を会場として、関東 1 都 6 県の災害派遣医療チーム（DMAT）による「関東ブロック DMAT 訓練」を開催しました。

約 130 機関から約 800 名が参加し、県内で那須岳の噴火や県庁直下型などの地震が発生した想定で、被災地における救急治療、病院支援、病院避難、航空医療搬送など様々な訓練を行いました。

（写真は下野新聞 2 月 11 日付けより）

## 2月-3月

### 県出身の若者でとちぎの今を考える

とちぎ出身者若者向け交流会「JIMOTO TOCHIGI FES!」を開催

2月

若年層のUターンを促進するため、東京圏に住む栃木県出身の若者向け交流イベント「JIMOTO TOCHIGI FES!」を2月25日に都内で初めて開催しました。

県内で活躍する同世代の若者の暮らし方や働き方に触れるとともに、サプライズで登場した福田知事も交え、参加者同士で「これからのとちぎ」について熱く語り合いました。



\*\*\*\*\*

### 功績をたたえて

栃木県知事特別表彰授与式

3月



1月に、著書「銀河鉄道の父」が第158回直木賞に決定した、本県出身の作家門井慶喜氏に対し、広く県民に希望と活力を与えてくれた功績と栄誉をたたえ、3月2日に栃木県知事特別表彰を授与しました。

表彰式後は、出版関係者の方々も交えて懇談し、作品の執筆秘話などについて伺いました。門井氏の今後の活躍に期待します。

\*\*\*\*\*

### 全国初！国際サイクルロードレースが県内全市町を走破！

「第2回ツール・ド・とちぎ」を開催

3月

3月23日から25日まで「第2回ツール・ド・とちぎ」が開催され、第1回大会と合わせて県内全25市町を走破しました。

さらに、今大会では一般参加レースやサイクルフォトラリーを初開催したほか、沿道イベントの充実等により前回は上回る約7万2千人もの観客が訪れ、県内全域への観光誘客や地域活性化（経済波及効果：約11億1千万円）に寄与することができました。





がんと共生する地域社会を目指して  
「栃木県がん対策推進条例」を施行

4月

**栃木県がん対策推進条例**  
平成30(2018)年4月1日施行

栃木県では、がん患者とその家族をはじめ、すべての県民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指して、「栃木県がん対策推進条例」を制定しました。

日本人の2人に1人ががんになると言われるほど、がんは国民病状態となっています。  
がん患者とその家族を社会全体で支えることがますます重要になってきています。

「県民一人一人ががんを知り、がんと共生する地域社会」を目指します！

がん患者とその家族をはじめ、すべての県民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指して、「栃木県がん対策推進条例」を4月1日に施行しました。

今後、様々な関係者と連携・協力しながら、がんの予防と早期発見の推進、がん医療の充実、がん患者やその家族を支えるための環境づくり、これらに必要な基盤の整備などががん対策を総合的に推進していきます。

\*\*\*\*\*

栃木県の“本物”の魅力を発信！

4月

「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン (DC) を開催

4月から6月に「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーンを開催しました。DCでは、地域の皆様と一体となって“とちぎならではの”特別企画やイベントが県内各地で展開するとともに、県民の皆様の心のこもった“おもてなし”などにより、国内外から多くのお客様をお迎えすることができました。

平成31年のアフターDCでは、DCでの成果と課題を踏まえながら必要な改善を図るなど、しっかりと準備するとともに、国内外から訪れるお客様を心のこもった“おもてなし”でお迎えし、春のとちぎを満喫していただきます。



## 誰もが支え合える地域共生社会の実現に向けて

### 地域共生社会トップセミナーを開催

5月



5月7日、地域の誰もが役割を持ち、お互いに支え合いながら暮らしていける「地域共生社会」の実現に向け、「地域共生社会トップセミナー」を開催し、市町行政、社会福祉法人の長など約400名が参加しました。

当日は、日本福祉大学学長補佐の原田正樹氏による講演のほか、県内の自治体や関係団体による先進事例の発表や意見交換が行われました。

\*\*\*\*\*

## 県内陶磁器産業の支援拠点施設を開設！

### 窯業技術支援センター「とちぎの器交流館」開所式

5月

益子焼をはじめとする陶磁器の新商品開発、販路開拓、人材育成などを支援するため、窯業技術支援センター内に「とちぎの器交流館」を新たに整備し、5月9日に開所式を行いました。

県内陶磁器産業の支援拠点施設として、新しい魅力を持った陶磁器の創出に向け、新商品開発や既存製品の品質・生産性向上、人材育成などを支援していきます。



\*\*\*\*\*

## 「県民に愛され、県民が誇れる、県民総スポーツの推進拠点」を目指して

### 新体育館・屋内水泳場起工式

5月



5月16日、宇都宮市今宮において、総合スポーツゾーン新体育館・屋内水泳場の起工式が行われました。

起工式では、福田知事や五十嵐県議会議長をはじめ、県や地元の関係者、設計・施工者など約100名が出席し、くわ入れが行われました。

両施設は鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）の地上4階建てで、新体育館はメインアリーナとサブアリーナ、屋内水泳場は50メートルプールと飛込兼用の25メートルプールから成る施設として整備しており、2021年4月に供用開始予定です。



# 5月-6月

## おもてなし日本一の栃木県を目指して！

5月

「本物の出会い 栃木」観光フェア&とちまるショップ 6周年記念イベント in 東京スカイツリータウンを開催

5月19日、「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーンの一環として、東武鉄道株式会社と連携し、「本物の出会い 栃木」観光フェア&とちまるショップ 6周年記念イベント in 東京スカイツリータウンを行いました。益子町出身のタレント、井上咲楽さんに「とちぎ未来大使」の委嘱状を交付したほか、観光PRや東武鉄道の子供制服着用体験、とちまるショップでのジェラート無料配布などが行われました。



\*\*\*\*\*

## 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて

6月

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアー」を開催



(Photo by 東京都 / Tokyo2020)

東京 2020 大会に向けた開催機運の醸成を目的として、オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグが全国を巡回する「東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアー」が6月5日から7月3日まで県内を巡回しました。5日には、県議会議事堂において本県出身オリンピックの平野早矢香さんをお迎えしてフラッグ歓迎イベントを開催したほか、翌6日からは高根沢町を皮切りに県内 25 市町を巡回し、オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成に努めました。(主催：東京都・東京 2020 組織委員会・JOC・JPC)

\*\*\*\*\*

## アルタモノフ州知事が来県

6月

ロシア連邦カルーガ州知事が本県知事と対談

栃木県とロシア連邦カルーガ州との交流の可能性を検討するため、6月7日から9日までの日程で、アルタモノフ カルーガ州知事一行が来県しました。

滞在中、日露地域間知事懇談会で経済分野などの両県州の交流の可能性について意見交換を行ったほか、農業試験場や医療機器製造企業の視察、ロシア経済・投資セミナーの開催を通して、相互理解を深めました。



## 東京 2020 大会への機運醸成と、ハンガリーの理解促進に向けて

6月

### 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック機運醸成イベント」を開催



6月16日に開催された県民の日記念イベントの一環として、東京2020大会に向けた機運醸成と、栃木県がホストタウン登録を受けたハンガリーの理解促進を図るため「東京2020オリンピック・パラリンピック機運醸成イベント」を開催しました。

県議会議事堂では、ジプシーバイオリニストの古館由佳子さんをお招きしてハンガリー民族音楽コンサートを開催するとともに、東館講堂ではパラリンピック関係者によるトークショーや、ウエイトリフティング日本代表の三宅宏実選手と知事による対談が行われ、オリンピックでのエピソードの紹介や事前キャンプの意義、栃木県のキャンプ地としての魅力などについて、選手ならではの貴重なお話をいただきました。

\*\*\*\*\*

## 目指せ！園芸大国とちぎづくり

6月

### 園芸大国とちぎづくり推進会議の設置

昨年6月に策定した「園芸大国とちぎづくり」推進方針に基づき、「オールとちぎ」で「園芸大国とちぎ」の実現に取り組んでいくため、生産者や農業関係の組織・団体、県を含む行政機関で構成する「園芸大国とちぎづくり推進会議」が新たに設置されました。



6月22日の第1回の推進会議では「園芸大国とちぎづくり宣言」を行うとともに、会長（知事）らが宣言書に署名し「園芸大国とちぎ」の実現に向けて意思を統一しました。また、宣言書の制作にはとちぎ未来大使で漫画家の仔鹿リナさんにご協力いただきました。

\*\*\*\*\*

## 知事の南米訪問

7月

### 在伯栃木県人会創立60周年記念式典等に出席



福田知事は、在伯栃木県人会の創立60周年記念式典に参加するため、7月15日から23日までの日程で、南米を訪問しました。

ブラジルではこのほか、日本人移住から110周年の記念式典と、「日本祭り」にも参加し、現地日系社会との交流を深めました。また、ブラジル訪問に先立ちアルゼンチンにも立ち寄り、在アルゼンチン栃木県人会会員との親睦を深めたほか、秋澤・クレリア・ファビアナ会長への「とちぎ未来大使」の委嘱を行いました。



# 7月-9月

## 関西圏へのとちぎのいいもの・いいところ・うまいものの発信

7月

### 14年ぶりに大阪センターを開所

栃木県企業誘致・県産品(とちぎのいいもの)販売推進本部 大阪センターが、7月30日にJR大阪駅の近くに開所しました。開所式では、関西圏等の県人会をはじめ、現地の交通・観光事業者等の方々にも御出席いただき、センターに対する期待や激励の言葉をいただきました。



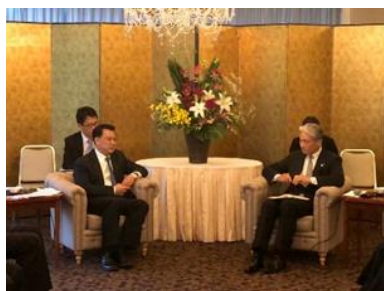
関西圏は首都圏に次いで人や企業が集まる重要なエリアであるため、これを契機として、観光誘客や農産物など県産品の販路開拓、企業誘致などに積極的に取り組み、県の更なる知名度向上につなげていきます。

\*\*\*\*\*

## 中国浙江省との友好提携25周年

8月

### 中国浙江省省長が来県



栃木県と中国浙江省が平成5年に友好提携協定を締結してから25周年を迎え、8月29日に袁家軍(えん かぐん)省長を団長とする代表団14名が来県しました。滞在中、知事省長会談を行ったほか、歓迎レセプションには、県議会や本県経済界、民間団体などの関係者も参加し、両県省の交流を更に深める場となりました。

\*\*\*\*\*

## 災害に備えて

9月

### 栃木県・鹿沼市総合防災訓練

9月2日、粟野総合運動公園にて、県と鹿沼市の共催で総合防災訓練を実施しました。

東日本大震災の教訓を踏まえ、消防・警察・自衛隊等の防災関係機関が連携した救出・救護をはじめ、地元の自主防災組織や自治会による避難及び避難所運営、災害派遣医療チーム(DMAT)による救助、ライフライン復旧、災害時の応援協定に基づく緊急物資輸送など、様々な訓練が行われ、約90団体、約1,400人が参加しました。



# 10月

## 県産木材の「木づかい」を県庁でPR!

とちぎ木づかい条例制定記念 とちぎ木づかいフェス&フォーラムを開催

10月



平成 29 年 10 月に「栃木県県産木材利用促進条例（とちぎ木づかい条例）」が施行されたことを記念し、10 月 8 日にとちぎ木づかいフェスとフォーラムを実施しました。県民広場では木工教室、木製品販売、模擬上棟式などを、東館 4 階講堂ではとちぎ木づかい功労者表彰と講演会を行いました。県民の方に「木」との触れ合いを通して、「木」の良さや森林整備の大切さを理解していただき、県産木材の積極的な「木づかい」のPRができました。

\*\*\*\*\*

## 災害時の福祉支援体制の構築

福祉関係団体と協定を締結

10月

県と福祉関係 16 団体は、災害時における福祉支援体制の構築を図るため、10 月 11 日に「栃木県災害福祉広域支援に関する基本協定」を締結し、災害発生時に避難所等で活動を行う「災害福祉支援チーム（DWAT）」の設置・運用に向け、連携して取組を進めることを確認しました。



本協定締結の後、県内社会福祉法人等に協力を呼び掛けたところ、県内 79 法人から延べ 306 名ものチーム員候補者の推薦を受けました。今後も、体制の一層の充実・強化に向け取組を進めていきます。

\*\*\*\*\*

## 州知事と今後の両県州の交流について協議

知事のロシア連邦カルーガ州訪問

10月



福田知事が 10 月 14 日から 19 日まで、ロシア連邦を訪問しました。16 日にはカルーガ州を訪問し、アルタモノフ カルーガ州知事等と経済や教育、観光分野等での交流について意見交換を行いました。カルーガ州では、現地に進出している日系企業の視察や、カルーガ国立大学の学長や学生との意見交換も行いました。



# 10月

## 県内 25 市町が都内に大集合！

### オールとちぎ移住相談会を初開催

10月21日、本県での暮らしの魅力をオールとちぎでPRするため、県内25市町や関係団体等が一堂に会する合同移住相談会「オールとちぎ暮らしの展覧会」を都内で開催しました。

各市町や仕事・子育てなどのブースで移住の相談に対応したほか、「25市町1分間PR合戦」や「先輩移住者トークライブ」などの催しを行いました。

200名を超える方にお越しいただき、とちぎで暮らす魅力を伝えることができました。



10月

\*\*\*\*\*

## 「とちぎ発の食ブーム」の創出を目指して

### 「のってる、とちぎ。on the TOCHIGI」コンテスト表彰式

10月



県では、「食の分野で選ばれるとちぎ(のってる、とちぎ)」を実現するため、民間ノウハウを活用し「とちぎ発の食ブーム」につながる提案型の商品開発とプロモーションに取り組んでいます。平成30年度には、ベースとなる食品の上に「とちぎのおいしい食材」をのせた商品「のってる、とちぎ。on the TOCHIGI」のコンテストを実施し、10月27日に県庁昭和館で表彰式を行いました。

\*\*\*\*\*

## 功績をたたえて

### 栃木県スポーツ功労賞授与式

10月

9月に、第36回世界柔道選手権大会の男子個人戦60kgで金メダルを獲得した高藤直寿選手に対し、広く県民に希望と活力を与えてくれた功績と栄誉をたたえ、10月30日に栃木県スポーツ功労賞を授与しました。

高藤選手の同賞受賞は、平成25年の世界柔道選手権大会、平成28年のリオデジャネイロオリンピック、平成29年の世界柔道選手権大会に続き4度目の受賞です。

高藤選手の今後の活躍に期待します。



# 11月

## 金賞3名をはじめ、昨年のとちぎ大会に次ぐ成績を残し大活躍！

11月

おきなわ技能五輪・アビリンピック 2018 に本県選手団が出場



11月2日から5日にかけて沖縄県で行われた、おきなわ技能五輪・アビリンピック 2018 に本県選手団が参加し、技能五輪では金賞3名を含む17名が入賞したほか、選手団として中央職業能力開発協会会長賞を受賞。アビリンピックでは5名が入賞しました。さらに、技能五輪金賞受賞者のうち2名（抜き型職種、左官職種）が、平成31（2019）年にロシアで開催される技能五輪国際大会へ出場することが決定しました。

\*\*\*\*\*

## 文化振興への貢献をたたえて

11月

栃木県文化功労者表彰式

本県の文化の振興に著しく貢献された方を、栃木県文化功労者として表彰しており、平成30（2018）年度は、日下田正氏（左）と日原公大氏（右）が選ばれました。



日下田氏は、藍染、草木染の手法を守りながら長年にわたり染織活動をされています。また、県内の高校で教鞭を執るなど後進の育成にも注力され、本県の文化振興に貢献されています。

日原氏は、彫刻家として個展を全国各地で開催するなど積極的に創作活動をされています。また、県内において国際彫刻シンポジウムを開催するなど、地域文化の向上に寄与されています。

11月14日に表彰式が行われ、第1回表彰（昭和24年）からの受章者は、合計147人（学術38人、芸術78人、その他31人）になりました。

\*\*\*\*\*

## “作りやすく、食べやすい” いちごが誕生

11月

いちご「栃木i37号」を発表



収量が多く、甘さが際立ついちご「栃木i37号」が県農業試験場いちご研究所で開発され、11月13日に農林水産省から品種登録出願公表となりました。

平成30年度は、実際の生産現場での栽培性のほか販売店、消費者などからの評価を確認するために、現地での栽培試験やマーケット調査を実施しました。



# 11月

## 本県の特徴ある伝統文化の“技”“巧”を体験

11月

### とちぎの「技・巧」親子体感フェスタを開催

11月17日、平成30年度「とちぎ版文化プログラム リーディングプロジェクト事業」として、とちぎの「技・巧」をテーマに、本県文化の魅力を発信するイベント「とちぎの「技・巧」親子体感フェスタ」をとちぎわんぱく公園で開催しました。



壬生寺円仁太鼓保存会と栃木県太鼓連盟による太鼓演奏、来場者演奏体験や、書道家さおり氏と西形彩庵（にしかたさいあん）氏による書道&染織コラボパフォーマンス、真岡木綿・足利銘仙・結城紬をPRするショーのほか、とちぎの伝統工芸品の制作工程を体験するコーナーなどを通して、本県文化の魅力を発信しました。

\*\*\*\*\*

## “ものづくり”を「見て・触れて・感じる」イベントが誕生

11月

### とちぎものづくりフェスティバル2018を初開催！



とちぎ技能五輪・アビリンピック2017のメモリアルイベントとして、11月17日と18日の2日間、「とちぎものづくりフェスティバル2018」を初めて開催しました。同フェスティバルでは、技能を競う競技大会と、技能を磨く公開練習会を行う「とちぎものづくり選手権」に多くの選手が参加したほか、小中学生を対象とした職業体験などを行

うものづくりイベントにも多くの子ども達が参加し、ものづくりの楽しさに触れました。

\*\*\*\*\*

## 国内外で活躍した方々を招待

11月

### “輝くとちぎ人”の集い

スポーツ・文化・学術・技能などの各分野で国内又は国外において、顕著な功績のあった方々に対して感謝と激励の意を表するとともに、その功績を広く県内外に発信するため、“輝くとちぎ人”の集いを11月23日に県公館で開催しました。



平成30年度県文化功労者の日下田正氏、日原公大氏、元プロ野球選手の岡田幸文氏が招待されたほか、国際大会や全国大会の入賞者など様々な分野で活躍する約200名が招待され、出席者同士が和やかに懇談し、交流を深めました。

# 12月

## 「いちご王国・栃木」全国へ

### 「いちご王国・栃木」いちごゼミナール in 大阪を開催

12月



12月11日、「いちご王国」プロモーション全国展開の第1弾となる“「いちご王国」いちごゼミナール in 大阪”を関西の食品事業者、流通事業者の方々を対象に開催しました。栃木のいちご事情や首都圏における最新いちごフェア事情、いちごの試食など、本県のいちごの特徴や魅力を発信しました。

\*\*\*\*\*

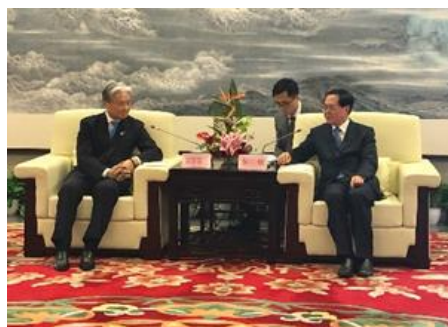
## 中国浙江省との今後の友好交流を確認

12月

### 知事が中国浙江省及び香港を訪問

12月18日から22日まで、福田知事が県議会議員3名と、中国浙江省及び香港を訪問しました。

浙江省では、車俊（しゃ しゅん）中国共産党浙江省委員会書記や袁家軍（えん かぐん）省長と会談を行い、これまでの25年間の交流を振り返るとともに、今後も、経済、教育、文化をはじめ、様々な分野での交流を深めていくことを確認しました。



香港では、観光関係者や食品関係者等を招いたレセプションを開催し、本県の観光といちご（スカイベリー）や梨（にっこり）等の農産物をPRしました。また、とちぎインバウンド大臣であるEGL ツアーズの袁文英（えん ぶんえい）社長と対談し、更なる栃木県の観光PR及び香港からの観光誘客について協力を依頼しました。

\*\*\*\*\*

## 第1回認証法人を決定

12月

### とちぎ介護人材育成認証制度



県では、介護事業所による人材採用・育成等の雇用管理改善の取組を“見える化”することで、介護業界全体のレベルアップとボトムアップを推進し、介護職を志す人の参入促進・定着を図るため、「介護の職場★魅力UP宣言～とちぎ介護人材育成認証制度～」を実施しています。

平成30年に運用を開始した「とちぎ介護人材育成認証制度」において、第1回目の認証法人等を決定し、12月19日に認証書を交付しました。



月	日	できごと
1月	9	栃木県障害者芸術展「Viewing ビューイング 2018」(12日まで)
	9	栃木県農業士・女性農業士・名誉農業士認定式
	15	「いちご王国・栃木の日」記念セレモニー
	19	「とちぎの百様」ジュニアコンクール表彰式
	23	青少年のためのインターネット利用環境作りフォーラム
	26	スカイベリーLuxuary Project オープニング・プチパーティー
	27	栃木県文化振興大会
	27	「いちご王国」太陽のスマイルマルシェ(2月3日・10日にも実施)
	29	白いちご「栃木 i W1 号」発表
2月	2	「東京オリンピック・パラリンピック等に向けたとちぎビジョン」シンポジウム
	3	主要地方道羽生田上蒲生線 助谷工区(壬生町助谷)供用開始
	4	副知事の台湾訪問(7日まで)
	5	栃木県元気な農業コンクール表彰式
	7	平成29年度栃木県森林・林業コンクール表彰式
	9	主要地方道藤原宇都宮線 上田原工区(宇都宮市上田原町)供用開始
	10	DMAT 関東ブロック訓練(11日まで)
	10	花と莓のフェスティバル(11日まで)

2月	20	主要地方道真岡那須烏山線 中柏崎中工区(高根沢町中柏崎)供用開始
	25	JIMOTO TOCHIGI FES!
	27	一般国道294号 湯津上南工区(大田原市湯津上)供用開始
3月	2	栃木県知事特別表彰授与式(門井慶喜氏)
	5	「とちぎならではの」のおもてなしフォーラム
	6	主要地方道岩舟小山線 西水代工区(栃木市大平町)供用開始
	7	生涯現役応援フォーラム
	10	とちぎナイスハート農福“美味しいもの”マルシェ(12月8日にも実施)
	11	「とちぎ防災の日」記念式典
	23	一般県道牧野大沢線 大木須工区(那須烏山市大木須)供用開始
4月	23	第2回ツール・ド・とちぎ(25日まで)
	24	とちぎ未来アスリートプロジェクト「エクセレントキッズ・ジュニア」認定式
	26	主要地方道黒磯黒羽線 鍋掛工区(那須塩原市鍋掛)供用開始
	1	「栃木県がん対策推進条例」施行
	1	「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン(6月30日まで)
	2	世界自閉症啓発デー ブルーライトアップ(8日まで)
	5	春の交通安全県民総ぐるみ運動オープニングセレモニー
5月	6	春の交通安全県民総ぐるみ運動(15日まで)
	8	自閉症啓発コンサート
	25	滞在型グリーン・ツーリズム相談窓口設置
	26	株式会社 JTB との包括連携協定締結
	27	県庁みつばちプロジェクト(5月25日まで)
	7	地域共生社会トップセミナー
	9	窯業技術支援センター「とちぎの器交流館」開所式
	12	渡良瀬遊水地外来植物除去活動
	14	第72回栃木県芸術祭(11月25日まで)
	16	総合スポーツゾーン新体育・屋内水泳場起工式
16	フードバレーとちぎ推進協議会総会	
19	栃木県アンテナショップ「とちまるショップ」6周年記念イベント	

5月	24	消費者月間フェア in とちぎ	8月	20	一般県道石裂上日向線 膝付工区(鹿沼市加園)供用開始
	26	明治神宮野球場でのPRイベント		25	農業試験場公開デー
6月	5	東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー	29	中国浙江省省長が来県	
	6	不法投棄パトロール出発式	30	ブランド食材勉強会(東京都にて、9月4日は県内にて)	
	7	ロシア連邦カルーガ州知事が来県(9日まで)	2	栃木県・鹿沼市総合防災訓練	
	11	一般県道国谷家中停車場線 地蔵橋工区(壬生町上稲葉)供用開始	7	地域中核企業認定証交付式	
	12	不法投棄等監視のためのスカイパトロール(10月5日・17日にも実施)	10	一般国道121号 益子工区(益子町益子)供用開始	
	16	東京オリンピック・パラリンピック機運醸成イベント	18	「ホストタウン・メダルプロジェクト in 栃木」キックオフイベント	
	16	県民の日記念イベント	20	秋の交通安全県民総ぐるみ運動「交通安全の灯」点灯式	
	16	とちぎナイスハートバザール in けんちょう(12月8日にも実施)	21	秋の交通安全県民総ぐるみ運動(30日まで)	
	22	廃棄物運搬車両一斉調査	22	子どもたちの木工工作コンクール表彰式	
	22	園芸大国とちぎづくり推進会議	22	少年の主張発表県大会	
23	男女共同参画を考える「とちぎ県民のつどい」	6	県産米おにぎりレシピコンテスト		
30	「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーングランドフィナーレ	8	とちぎ木づかい条例制定記念とちぎ木づかいフェス～もくもくまつり2018～		
7月	5	第52回交通安全子供自転車栃木県大会	8	とちぎ木づかい条例制定記念フォーラム	
	9	栃木県・芳賀町防災図上総合訓練	11	「栃木県災害福祉広域支援に関する基本協定」締結	
	9	「とちぎヘルスケア産業フォーラム」セミナー・交流会	12	とちぎのいいものPR事業 in 高雄	
	9	第43回農業機械士全国大会栃木大会(10日まで)	13	畜産酪農研究センター公開デー	
	11	「とちぎロボットフォーラム」セミナー・交流会	14	知事のロシア連邦カルーガ州等訪問(19日まで)	
	13	栃木県フロンティア企業認証式	16	第31回きこ料理コンクール	
	15	知事の南米訪問(23日まで)	20	とちぎ木づかい条例制定記念 とちぎ林業グランプリ2018 in みぶ	
	20	平成30年度とちぎ農産物輸出促進会議	21	オールとちぎ移住相談会	
	21	消費者親子教室	27	とちぎ“食と農”ふれあいフェア2018(28日まで)	
	25	2018水産試験場サマースクール	27	のってる、とちぎ。on the TOCHIGI コンテスト表彰式	
29	消費者親子教室	27	とちぎ食育推進大会2018(28日まで)		
30	栃木県大阪センター開所	28	心豊かな青少年を育む県民のつどい in 真岡市		
8月	1	廃棄物処理施設見学バスツアー(2日まで)	29	栃木県IoT推進ラボキックオフセミナー	
	2	主要地方道鹿沼下野線 上古山工区(下野市上古山)供用開始	30	栃木県スポーツ功労賞授与式(高藤直寿選手)	
	2	とちぎ企業立地・魅力発信セミナー	30	栃木県・小山市国民保護共同図上訓練	
	5	平成30年度「チームとちぎジュニア選手」認定証授与式	31	第1回栃木農業労働力確保連絡協議会	
10	とちぎの伝統工芸品展 in ベルモール(11日まで)				



11月	1	とちぎ企業立地・魅力発信セミナー in 大阪	12月	6	とちぎの農産物イメージアップ研修会・食材提案会
	2	第23回障害者文化祭 ～カルフルとちぎ2018 こころのつどい～		10	栃木県芸術祭表彰式
	2	おきなわ技能五輪・アビリンピック2018(5日まで)		10	未来へつなぐとちぎ農業フォーラム2018
	5	とちぎ協働推進大会2018		11	栃木県防災会議
	5	栃木県優良デザイン商品選定証交付式及びとちぎデザイン大賞表彰式		11	年末の交通安全県民総ぐるみ運動(31日まで)
	8	とちぎ女性活躍応援フォーラム2018		11	「いちご王国・栃木」いちごゼミナール in 大阪
	10	第10回「介護の日」フェスティバル in けんちょう		18	知事の中国浙江省及び香港訪問(22日まで)
	10	ヒューマンフェスタとちぎ2018		19	ジュニア知事さん表彰式
	12	一般県道小来川清滝線 和の代工区(日光市清滝和の代町～清滝)供用開始		19	とちぎ介護人材育成認証制度認証式
	12	栃木県青少年健全育成成功労者等表彰式		19	とちぎ米-1グランプリ
	12	平成30年度「いちご王国・栃木」推進委員会		25	栃木県農業改良普及事業70周年記念大会
	13	栃木県農業協同組合中央会との包括連携協定締結		26	あったらいいな!とちぎものづくりアイデアコンテスト表彰式
	14	栃木県文化功労者表彰式			
	14	いちご「栃木 i37号」発表			
	17	フェスタ in パルティ			
	17	第39回全国歯科保健大会			
	17	とちぎものづくりフェスティバル2018(18日まで)			
	17	とちぎの『技・巧』親子体感フェスタ			
	19	県営土地改良事業の換地業務に係る感謝状贈呈式			
	20	第10回栃木県交通・生活安全安心県民大会			
	21	関東ブロック農業士研究会(22日まで)			
	23	“輝くとちぎ人”の集い			
	24	栃木県農業大学校第42回農大祭(25日まで)			
27	主要地方道桐生岩舟線 白旗橋工区(足利市寺岡町～佐野市免鳥町)供用開始				
27	とちぎのいいもの商談会(東京都で、28日まで)				
28	平成30年度栃木県きのこ・わさび展示品評会(29日まで)				
28	とちぎGAPの第三者確認証の交付				
12月	2	総合運動公園第3回桜の木の植樹会			
	6	栃木県心の輪を広げる障害者理解促進事業入選者表彰式			



## **とちぎ県政のあゆみ 2018**

平成 31 (2019) 年 3 月 29 日発行

編集・発行／栃木県県民生活部広報課

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田 1-1-20

☎ 028-623-2192 FAX 028-623-2160